

あいちの ふくし

・新年のご挨拶 02
 ・第57回全国保育研究大会 報告 03

特集 みらい～中期計画より～ 地域福祉活動の推進

「あ・い・ち・ふ・く・し」をめざして 04・05
 ■ 民生委員 児童委員活動紹介 06
 ■ 福祉人材センターだより 07
 ■ 福祉生きがいセンターだより 08・09
 ■ 福祉サービス利用支援センターだより 10
 ■ 愛知県共同募金会だより 11
 ■ 第61回愛知県社会福祉大会 報告 12
 第27回ふれあいフォトコンクール入賞者決定
 福祉の保険 ご案内
 ご寄付に感謝
 2014年「社会福祉手帳」「民生委員・児童委員手帳」訂正のお知らせ

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
 名古屋市中区丸の内二丁目4番7号
 ☎(052)232-1181
 編集発行人 西尾昭雄
<http://www.aichi-fukushi.or.jp/>

2014.01
 no.474

心の豊かさ

新年明けましておめでとうございます。

今年も皆様方にとって幸せな良い年でありますよ

う心よりお祈り申し上げます。

私は昨年「人生七十古来稀なり」と中国の詩人杜甫の詩句にある古希を迎えました。今日では百歳を超えると稀とは呼ばれないほど長寿の時代になりました。これも医療技術は元より私たちの生活環境の格段の進歩によるところが大であると感謝せざるを得ません。

まだ私が小学生の頃ですから今から六十年程前には、ほとんどの家庭にはテレビ、冷蔵庫、電気洗濯機など普及っていました。たまたまテレビのある家には近所の子どもから大人まで集まり、世代

豊田市社会福祉協議会 会長 宇井銀之

間の交流の場になっていたことを懐かしく思い出します。今ではテレビは各部屋に1台の時代、車も携

帯電話など私達は何不自由なく物の豊かさの中で便利で満ち足りた生活ができるようになりました。

しかし、確かに物の豊かさの恩恵は受けましたが

が、その間に大事なことを失つてきたような気がしません。これからは日々、人々の暮らしの中で

互いに助け合い、支え合いながら温かさが実感できる、そんな心豊かな生活を求めていくことが大切で

あると思います。それが幸せな人生につながっていくのではないかでしょうか。

今年も心豊かな生活が送れますよう新年を迎える、そんな願いです。

(愛知県社会福祉協議会 副会長)



「希望と自信と誇り」にみちた

福祉を実現しよう

社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会 会長 大沢 勝



これからの超少子高齢化社会や人口減少社会が想定される中で、血縁だけでなく、性別・年齢・障害の壁を越えて、誰もが地域で普通に安心・安全・快適に暮らせるユニバーサル社会の実現を目指した活動が求められると思います。

このような中、今後想定される大規模災害に備えて、『災害福祉支援ネットワーク』づくりに取り組んでいかなければなりません。また、高齢者の独り所帯・夫婦のみ所帯や親子のみ所帯などの増加により家庭介護力が低下している中、地域づくりをベースとした

「地域包括ケアシステムの構築」に向けて、福祉の力はますます重要性を増してきます。さらに、すべての人びとの暮らしの安全・安心・快適性を確保するためにも、技術者や大学などとより一層連携を密にして、さらなる協働の場を広げて行くことが必要となります。

福祉の現場を「誇りと自信と希望」に満ちた職場とし、福祉ニアーズを産業技術に積極的に発信し、「ヒトづくり」と「モノづくり」の新たな関わりを構築していくことを考えています。次世代の福祉社会を見据えて、地域で「生きる力」を育む「新しいまちづくり」に向けて、全力で取り組んでまいります。

今年は「甲午（きのえうま）」の年です。干支のうち、甲（きのえ）は「十干」

の第一位にあり、草木の芽生えを意味しています。昔は、小学校の成績も甲乙丙丁でした。また、人頭や龜の甲を象形しており、頭とか始めとか、兜や鎧などの武具を示すものでもありました。「午（うま）」は杵（呪器）をかたどる文字で、防ぎ守るとか、逆らう・怒るなどを含意します。また、
「午」は正午を挟んで前後一時間ほど
の時を示しており、前半が終わり後半
の始まりを告げるものです。今の日本
社会の激動期を示唆しているようで、
福祉関係者にとっても気の抜けない年
となりそうです。良い草木の芽生えを
願つてやみません。

年頭にあたり、皆様のご多幸ご健

闘を祈念して、ご挨拶いたします。

～すべての人があそびと子育てに関わりをもつ社会の実現を目指して～

第57回全国保育研究大会 報告

平成25年10月9日から11日まで、全国保育協議会及び愛知県社会福祉協議会の主催により、名古屋国際会議場にて「第57回全国保育研究大会」を開催しました。

全国から保育関係者1,600余名が一堂に集い、現在、保育情勢が転換期を迎えており制度改革の背景やその内容等課題を共有化するため、保育・子育て支援に関するさまざまなテーマでの研究協議を行いました。

東世光 愛知県
社協保育部会
長の開会挨拶
があり、主催者



▲伊東世光部会長



▲開会式

第2回目は、分科会を実施し、11の感謝・会長表彰・保育活動専門員認定授与が行われました。式典のあと表彰では、全国保育協議会顕彰・特別感謝・会長表彰・保育活動専門員認定授与が行われました。式典のあと表彰では、橋本泰宏厚生労働省保育課長から、子ども・子育て新制度についての行政説明、続いて、万田康全保協会長から、保育をめぐる動向と全保協の取り組みについて基調報告が行われました。

大会は3日間開催し、第1回目は、

重要無形民俗文化財の花祭「榊鬼の舞」のオープニングに始まり、式典及び行政説明、基調報告を実施しました。

式典では、伊

テマとして実施しました。その内容は、保育園内における事故リスクマネジメントについて、愛知県社協保育部会実態調査ワーキングチームが本大会に向けて作成した、「愛知県における保育中の事故に関する実態調査報告書」の結果を踏まえた講義があり、またグループに分かれて討議し、保育現場での安全管理が子どもたちの幸せな生活につながるということを再確認しました。

記念講演後は、次年度開催県である秋田県からの挨拶、及び閉会式が行われ、盛会裏の内に終了しました。



▲第8分科会の様子

みんなで挑戦!!

ミニ福祉検定

**Q 都市部を中心に保育所入所待機児童が問題になっていますが、愛知県では平成24年4月1日と平成25年4月1日を比べると減っています。
さて、待機児童数は何人減ったでしょう？**

| | | |
|----------|--------|--------|
| 1 1,207人 | 2 755人 | 3 452人 |
|----------|--------|--------|

*待機児童とは…
保育に欠けるため、保育所入所申請をしているにもかかわらず、希望する保育所が満員である等の理由で保育所に入所できない状態にある児童をいう。

こたえは…12ページをご覧ください。



地域福祉活動の推進

特集テーマ

みらい～中期計画より～

【第3回：全4回シリーズ】

現在、地域社会や家族の様相は、少子・高齢化の進行や働き方などの生活様式の変化に伴って大きく変容し、さらに経済情勢や雇用環境の厳しさや長期化も相まって、孤独死やひきこもりなどの社会的孤立の問題、経済的困窮や低所得の問題、虐待や悪徳商法などの権利擁護の問題など、地域における福祉課題・生活課題は、広がりをみせてています。

これからも、ますます深刻化する生活困窮者に代表される地域での福祉課題・生活課題に対応するため、地域福祉の中核を担ってきた社協としては、どのように取り組んでいったらよいのか、問われるところになります。

地域福祉活動の推進を図るため、第3次中期計画に基本方針を提示し、市町村社協への支援、ボランティアセンターの機能強化を行っていきます。

このような状況のなか、社会福祉協議会（以下、市民、専門機関、ボランティア・NPO団体などと協力や協働し、地域の実情に応

「あ・い・ち・ふ・く・し」をめざして

(あんしんして いきいきと ちいきで ふつうに くらせる しゃかい)

地域福祉活動の推進に向けて

● 小地域福祉活動について

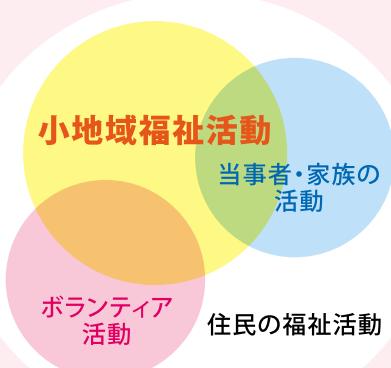
住民一人ひとりが地域福祉に参加して、地域のなかで助け合い育てるための活動を支えています。目的は①住民間の繋がりを再構築する活動②要援護者に対する日常生活課題として取り組み近な支援を行う活動③地域社会機能を高める組織化活動などがあり、基本的な活動として「地区社協」の設

置や「ふれあい・いきいきサロン」活動の取り組みがあります。

こうした活動を展開することにより、地域住民が直接地域福祉活動に参加でき、地域住民が福祉課題に取り組むことを通じて、個々の生活課題から福祉生活課題として取り組みが進み、福祉のまちづくりに繋がります。

こうした活動を推進していく市町村社協の活動を支援します。

小地域福祉活動の位置付け



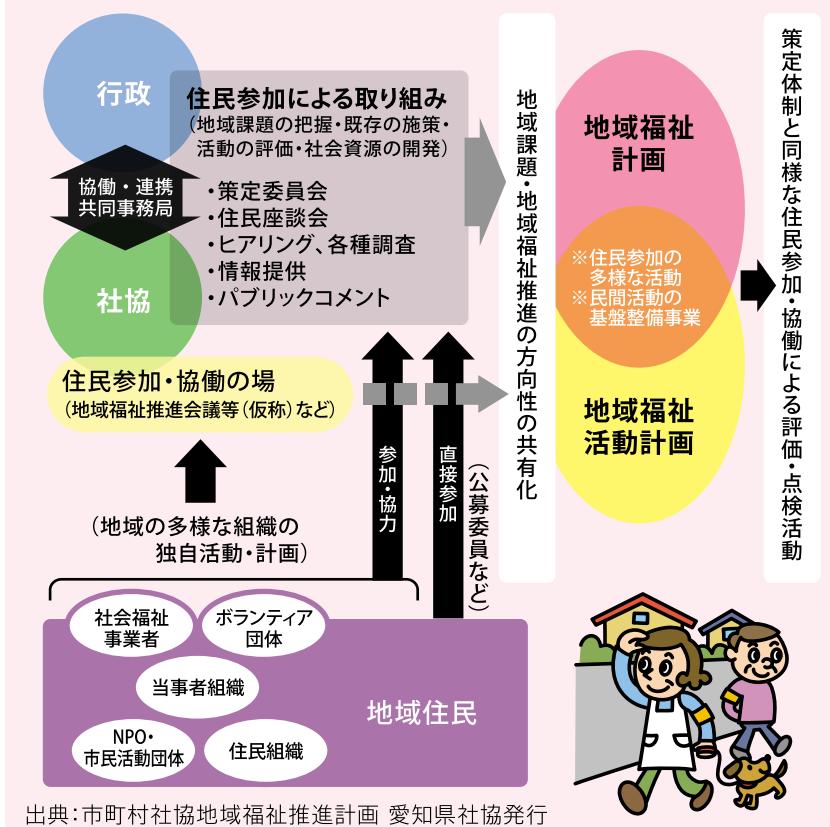
出典：小地域福祉活動の手引き 全社協発行



ふれあいきいきサロンの様子

今年度の県社協機関紙「あいのちのふくし」では、「みらい～中期計画より～」と年間の特集テーマ（全4回）とします。昨年度策定した中期計画の中から重点事業をピックアップし、5年先を見据えて県社協の事業を紹介していきます。

地域福祉活動計画と地域福祉計画の一体策定のプロセス図



出典:市町村社協地域福祉推進計画 愛知県社協発行

● 計画的な事業実施の推進について

地域においてその地域特性に合った様々な福祉活動が、より活発に実施されるためには、地域福祉計画（行政）が策定されることが効果的です。計画等の必要性や策定手法等を明示して計画策定を推進するとともに、分野別支援計画として「愛知県地域福祉

● 活動推進計画（仮称）」を策定し、より具体化な推進を図ります。

● 地域福祉を担う人材の養成

地域コミュニティの組織化や地域住民による孤立防止や要援護者への個別支援の促進を担う「コミュニティソーシャルワーカー（以下CSW）」等の養成を市町村社協等と協力のもと進めていきます。

災害への対応体制の整備

災害時には、被災者や被災地の復興を支援するボランティアの活動が大切で、そのためには、災害ボランティアセンターの設置などが必要となります。このため、平常時も含めた事前の体制整備や災害ボランティアコーディネーターなどの必要な人材養成、県域等の広域による相互支援体制の整備などを、関係機関との協働により推進します。

また、地域福祉の推進や要援護者支援などの役割がある市町村社協

が、災害時に事業復旧や事業継続ができる体制づくりを支援します。



被災者支援のボランティア活動の様子

ボランティア活動の推進

ボランティア活動は、多様な生活課題に対して地域住民の日常生活

を支える重要な役割を果たしており、活動を行う方にとっても、自己実現や社会貢献の意欲を満たすもので、近年、活動は福祉分野のボランティア活動を始めとして、環境美化、災害支援、防犯活動など幅広い分野で展開されています。ボラン

ティア活動を支援していくことを目的として市町村社協にボランティアセンターがあります。

ボランティア活動の広がりとともに市民活動を支援することが求められており、より地域でのボランティア活動を支える人材（ボランティアコーディネーターやボランティア相談員）を育成するための研修会等を開催し、その活動を支援します。

ひとり暮らし高齢者世帯特別訪問事業

大府市北山地区民生児童委員協議会

1.はじめに

大府市では、民生児童委員の活動として、「65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯宅を訪問し、見守り支援活動を行っています。訪問以外にも、日頃から見守りが必要な方には、「郵便受けに郵便物がたまつていないか」、「雨戸が何日も閉まつたままになつていなか」などを確認し、生活状況や安否の確認をして見守っています。

2.内容の検討

「」
この活動を継続している中、ひとり暮らし高齢者世帯について「もうと結びつきを深めた内容にしたい」、「防災意識が低い」、「変な勧誘の電話が掛ってきてるようだ」など、北山地区の委員から様々な意見が出されました。

「」
このような意見を少しでも反映し、

「」
のよつた意見を少しでも反映し、



▲北山地区民児協定例会の様子

活動を改善したいとの思いから、北山地区民児協の定例会で前向きに検討

を重ねた結果、「ひとり暮らし高齢者との会話の機会や対面回数を増やす」という方向性が出てきました。そしてその方法として、「ひとり暮らし高齢者特別訪問事業」を実施することになりました。

3.具体的な内容

具体的な方法として、「手土産やチラシを持って訪問する」ことになりました。「」の方法なら、話題が増えて会話が弾み、普段の訪問と少し雰囲気を変えることができると同時に、委員個人の負担も少なく、継続性があると考えました。

65歳から69歳のひとり暮らし高齢者には、防犯や防災に関するチラシを、70歳以上のひとり暮らし高齢者は、チラシと手土産を持参することとし、通常の見守り活動に加えて、3ヶ月おきに年4回実施することにしました。また、地区の全委員に担当月を割り振り、訪問時の手土産内容や予算配分などを、担当委員が責任をもつて準備、実施するようにしました。

特に今年度は、災害対策を意識して「非常用持ち出し袋」を配付し、懐

中電灯、ウェットティッシュなどの品目を用意し、4回に分けて袋の中身を充実させ、いざという時の備えを支援することができました。来年度の手土産の内容も、今年度の反省を踏まえて現在検討中です。

4.成果

この活動をとおして、ひとり暮らし高齢者との会話に「軽」と「深まり」が生まれると同時に、チラシ配付により、ひとり暮らし高齢者に防犯や防災に対する注意喚起を効率的に実施することができ、高齢者の注意意識をさらに高めることができたと実感しています。また、全委員が主体的に運営する仕組みを取り入れたことで、「全員参加で行事を遂行する」という意識が醸成され、よりまとまりのある地区民児協となり、民生児童委員活動の向上につなげることができました。



福祉人材センターだより

ご報告 福祉職場の魅力を伝える！

高校生のための福祉の職場魅力発見事業

ご報告

チームで笑顔！ 新任採用 福祉職員研修の実施

本年度の新規事業として、高校生を対象とした福祉の職場魅力発見事業を実施しています。この事業は、福祉分野における人材確保が課題となっている状況のなかで、特に若年層の参入促進を図るため、これから就職をしていく高校生に、福祉に関する職業の魅力を伝え、将来の職業選択肢の一つとして福祉に関心を持つてもうおうというものです。

これまでに県内の高等学校から6校、約140名の参加があり、県内の様々な分野の社会福祉施設をバスで訪れ、見学しました。

参加者からは「福祉施設に目を向ける契機となつた」「職員の方から具体的なお話が聞けて勉強になつた」「入所者の方と触れ合えて楽しかつた」「福祉の職場に対するイメージが変わつた」等の感想が寄せられ、大変有意義な事業となりました。



▲福祉用具の使用体験

福祉職は大変だと思われがちですが、実際は人の笑顔に触れる喜びを感じたり、利用者の人生に寄り添つたりしながら続けられる、楽しくてやりがいのある仕事です。福祉人材センターでは、これからも当事業を通して高校生等の若い世代に、福祉の職場の魅力を伝えていきます。

介護保険制度の要を目指して！ 【介護支援専門員実務研修受講試験】 愛知県は1,100人が合格！

第16回介護支援専門員実務研修受講試験が全国一斉に10月13日(日)に行われ、愛知県では6,028人が名古屋大学、名城大学、名古屋市立大学の3会場で受験しました。

12月10日(火)に合格発表され、愛知県の合格者は1,100人、合格率は18.2%でした。

なお、合格者が介護支援専門員になるには、1月から6月に行われる7日間(44時間)の「介護支援専門員実務研修」を修了し、県に登録することが必要です。研修の詳細は、愛知県福祉人材センターのホームページをご覧ください。

[URL]
<http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/jinzai/index.html>

現在の福祉職場の状況を見ると離職率が平均と比較してやや高く、特に早期の離職が目立つために、常態的に求人募集が行われ、一部の地域では人手不足感が生じています。こうしたなかで、福祉人材センターでは福祉分野の特に若年層の離職防止のため、主に新任採用職員を対象とした研修会を実施し、のべ210名が参加しました。



▲ドミノを使っての課題は達成なるか？



福祉生きがいセンターだより

龍馬の里で、選手大奮闘！

第26回全国健康福祉祭こうち大会 (ねんりんピックよさこい高知2013) 参加報告

全国健康福祉祭は、スポーツや文化、芸術活動などを通じて、高齢者の心身の健康や社会参加、生きがいの高揚・増進を図る目的で、毎年開催されています。



■間寛平さん炬火点火



■開会式愛知県選手団入場

各選手団入場後に、ねんりん世代アスリートによる炬火ランナーから、サプライズゲストとして出場した地元出身のタレント、間寛平さんに引き継がれ、炬火台に点火されました。

晴天に恵まれた開会式式典では、翌日からは種目ごとの会場において、熱戦・親睦・交流の輪がくり広げられ、14種目におりて個人優勝やブロック一位他、多数入賞されました。

鳴子踊りなどのアトラクションが披露され、力強く華やかな幕を開けとなりました。

翌日からは種目ごとの会場において、熱戦・親睦・交流の輪がくり広げられ、14種目におりて個人優勝やブロック一位他、多数入賞されました。

選手団の詳しい入賞結果は福祉生きがいセンターホームページでご覧になります。

来年度の第27回全国健康福祉祭とちぎ大会(ねんりんピック栃木2014)は平成26年10月4日～7日に開催されます。

[URL]<http://www8.ocn.ne.jp/~ai-choju/>

学生募集

平成二十六年度 「あいちシルバーカレッジ」の

学生募集

愛知県社会福祉協議会では、愛知県からの受託事業として高齢者の生きがいと健康づくりを応援するため、「あいちシルバーカレッジ」を開講します。

△対象 愛知県内にお住まいの六十歳以上(昭和二十九年四月一日以前生まれの方(ただし、過去に在籍した方は除きます。))

△会場 名古屋(県社会福祉会館)、豊橋(豊橋市民センター)、岡崎(岡崎市図書館交流プラザ)、一宮(一宮地場産業ファッショングデザインセンター)

※会場は変更になる場合があります。

△募集定員 計五百四十人

△費用(予定) 入学金・授業料 計二万円(年額)

△募集期間 一月十四日(火)から二月十三日(木)まで(消印有効)

△申込方法 各市町村社会福祉協議会、各県民生活プラザ、市区町村役場等に配布する「募集案内」に添付の往復はがきで、左記までお申し込みください。

△申込み・問合せ先 愛知県社会福祉協議会福祉生きがいセンター

〒四六〇一〇〇一 名古屋市中区三の丸一丁目七一二桜華会館二階

電話(052)133-10700
(ダイヤルイン)

法人長寿社会開発センターの主催により、平成25年10月26日(土)から29日(火)まで、高知県内10市5町1村・1広域連合で開催され、愛知県選手団は、21種目に149人が参加しました。



■ソフトボール交流大会



■ゲートボール交流大会



■サッカー交流大会

第26回大会となる今年は、「長寿の輪 龍馬の里でゆめ交流」をテーマに、厚生労働省・高知県・一般財団法人長寿社会開発センターの主催により、平成25年10月26日(土)から29日(火)まで、高知県内10市5町1村・1広域連合で開催され、愛知県選手団は、21種目に149人が参

[URL]<http://www8.ocn.ne.jp/~ai-choju/>

どぞけよう スポーツのちからを!!

第13回全国障害者スポーツ大会

「スポーツ祭東京2013」



■開会式～愛知県選手団入場～

京2013）が東京都において開催され、愛知県からは、個人・団体競技あわせて181名の選手、役員が参加しました。

大会に向けて練習を重ね、気合い十分の選手・役員は10日、白と青の愛知県選手団ユニフォームを身にまとい、期待と不安が入り混じりながらも、きりつとした笑顔で名古屋駅を出発しました。



■名古屋駅での出発式



■熱戦!! 腹賞バレー男子



■ 東京散策の思い出

大会前日11日の公式練習で体調を整え、12日（大会1日目）の開会式で、はつらつとした姿で行進をした選手たちは、大きな声援に緊張しつつも、監督やコーチのサポートを受け、全力で競技に参加しました。2020年東京オリンピック・パラリンピックが決定した直後とあって、会場はとても盛り上がっていました。

個人競技では合計58個のメダル（金メダル25個、銀メダル21個、銅メダル12個）を獲得、団体競技では聴覚バレーボール男子が優勝しました。知的障害者バスケットボール女子、車椅子バスケットボール、グランドソフトボール、知的障害者バレーボール男子の各チームも熱い声援に応え、男子の各チームも熱い声援に応え、精一杯競技しました。

りと、選手にとつて充実した時間となりました。

現地スタッフとの楽しい交流が選手達にとつてなによりの思い出となつたようです。



■ご支援ありがとうございました



■ボランティアのみなさんと

福祉サービス利用支援センターだより



平成25年度日常生活自立支援事業「生活支援員等研修会」 ～生活支援員として地域福祉の活動に参加してみませんか～



■講師の今井先生

平成25年11月14日（金）に愛知県社会福祉会館において、生活支援員研修会を開催し、愛知県内の各市町村から105名の参加がありました。この研修会は、日常生活自立支援事業の利用者の生活に寄り添いながら活動をしている生活支援員を主な対象として、今年度は本事業にも関連活動に役立てていただくために行いました。

午後は、名古屋市社会福祉協議会の次長平坂義則氏と市民後見人として実際に活動されている天野由紀子氏に「市民後見人活動の意義」として活動発表をいただきました。参加者か

午前は、特定非営利活動法人「知多地域成年後見センター」で事務局長をされている今井友乃氏に「地域における成年後見制度の役割と活動」として講演をいただきました。参加者からは「成年後見制度は、名前を耳にしている程度だったが、今回は内容も理解ができたので、今後の活動に役立てていきたい」「とてもわかりやすく、笑いもあり生活支援員として初心者でも少しづつ理解できた」「今後、ますます成年後見制度の利用者の増加が見込まれるので基本的なことから学ぶ良い機会になった。」などの感想がありました。

午後は、「専門職後見も必要だが、市民後見人も必ず必要だと感じた。」「あんしんセンターの支援体制があるので市民後見人も安心して活動できていると思った。」「成年後見制度と日常生活自立支援事業は、それぞれつながりがあるが内容は違う。どちらも今後の必要性は大きいと思う。」などの感想がありました。

その後「地域における支援活動」をテーマにグループ討議を行いました。

グループ討議では、利用者との信頼関係を築く大切さ、日頃の支援員活動の難しさ、支援における工夫、などについて討議され、情報交換が行われました。



■活動発表の様子



■グループ討議の様子

関係を築く大切さ、日頃の支援員活動の難しさ、支援における工夫、などについて討議され、情報交換が行われました。

この研修を終えて、生活支援員の方々が地域でより一層活躍していくだけだと思います。

また、日常生活自立支援事業の生



• 愛知県共同募金会だより

中央競馬馬主社会福祉財団助成金 目録贈呈式を開催

社団法人中京馬主協会（永井啓式会長）は、10月3日、名古屋ガーデンパレス（名古屋市中区）に於いて「平成25年度中央競馬馬主社会福祉財団助成金」の目録贈呈式を開催されました。本県関係では、社会福祉施設に総額1,791万円が助成されました。（表）

同財団は、中央競馬の馬主の方々が得られた賞金の一部を自主的に拠出して、民間の社会福祉事業を支援するとともに、公益の増進に寄与することを目的として、昭和44年に設立されたものです。

なお、この助成金の申請にあたりましては、中京馬主協会と愛知県共同募金会で協議し、同協会の審査を経て中央競馬馬主社会福祉財団にて推薦されたものです。



中京馬主協会加藤副会長（右）から施設の代表者へ目録贈呈

(表) 中央競馬
馬主社会福祉財団助成
状況一覧

| 施設種別 | 件数 | 金額(千円) |
|---------|----|--------|
| 児童福祉施設 | 3 | 3,080 |
| 障害者福祉施設 | 8 | 10,080 |
| 高齢者福祉施設 | 2 | 1,650 |
| 保育所 | 3 | 3,100 |
| 合計 | 16 | 17,910 |

CBCチャリティ募金寄託贈呈式

12月18日にCBC「婦人ホール」に於いて「CBCチャリティ募金寄託贈呈式」が開催されました。

CBC（中部日本放送）では、平成14年度から児童福祉施設への支援を目的として、放送と連動した募金活動が展開されています。

この寄付金は、愛知県を通じて本県共同募金会に寄せられ、児童関係10施設の必要物品や施設整備費等に配分しています。

CBCでは、昭和32年からこうした募金活動に取り組まれています。



CBC大石社長（右）から施設の代表者へ目録贈呈

“赤い羽根助成金ありがとう”メッセージ

社会福祉法人ゲマインダハウス
日中活動系サービス事業所「青空の家」
(名古屋市守山区)

配分額 283万円 助成事業（ディーゼルトラック）

“感謝でいっぱいです”
まちにまったくトラックが届きました。

数年前のある日、作業用トラックで施設利用者と共に資源回収へ出かける途中大雨になり立往生し、水につかってしまい使用不可能となってしまいました。
資源回収はもとより、施設の行事等にもたいへん重宝していただけに、当たり前のようにあったトラックの必要性を改めて感じ、何とかならないものかと頭を悩ませておりました。

この度、愛知県共同募金会様より配分金を頂くことが出来、トラックを購入することができました。本当に感謝でいっぱいです。

利用者の方々も皆大喜びです。今後の資源回収や行事等にも力が入ると思

います。
ほんとうにありが
とうございました。



「第61回愛知県社会福祉大会」

去る10月24日（木）、愛知県体育館において、県内の社会福祉の第一線で活躍されている関係者10,000名余の方々に参加いただき、「第61回愛知県社会福祉大会」を開催しました。なお、大会当日は、名古屋市消防音楽隊によるオープニングアートラクションで始まり、続いて、式典では、多年に亘り社会福祉の推進に功績のあった方や団体に、県知事・県社協会長・県共募会長から、表彰状・感謝状が贈呈されました。

また、「大会宣言・決議」を参加者の総意をもつて採択し、盛大に終了しました。

大会決議

今日、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、利用者本位の福祉サービス提供体制の充実と地域福祉の基盤強化が強く求められています。

このときには、わたくしたち社会福祉関係者は、福祉力・地域力の向上を図るために、次の事項を決議します。

- 1 地域福祉の中心的担い手である県・市区町村社会福祉協議会の基盤整備を一層強化されたい。
- 2 ボランティア・NPO等の活動に対する支援を充実強化されたい。
- 3 民生委員・児童委員活動に対する支援を強化されたい。
- 4 地域における生活支援の強化・生活困窮の課題への対策を一層強化されたい。
- 5 生活福祉資金貸付事業等のセーフティネット対策を強化されたい。
- 6 福祉・介護を担う人材の確保と育成のための総合的・恒久的な対策を充実強化されたい。
- 7 介護保険サービスの質の向上と円滑な運営及び介護予防と高齢者の生きがい対策を充実強化されたい。
- 8 障害者の自立生活を推進するための総合的な支援施策を充実強化されたい。
- 9 少子化に対応した地域における子育て支援対策や児童虐待予防の取り組みを始めとする社会的養護施策を充実強化されたい。
- 10 ひとり親家庭に対する福祉サービスと母子家庭の母に対する就業支援等の自立支援策を充実強化されたい。
- 11 社会福祉施設の整備と運営体制の支援を強化されたい。
- 12 大規模災害を想定した福祉救援・災害救援体制の整備を図るとともに、防災・減災対策を推進されたい。

平成25年10月24日

第61回愛知県社会福祉大会

福祉の保険 ご案内

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガを補償（傷害事故）活動中に人にケガをさせてしまった時や人の物を壊してしまった事故を補償（賠償事故）

ボランティア行事用保険

社協やボランティア活動を推進している民間団体が主催の行事中のケガや賠償事故を補償

保険の内容については、本会ホームページ「福祉の保険」をご覧ください。加入手続き・お問い合わせは、お住まい又は活動場所の市区町村社会福祉協議会へ

取扱代理店 愛知福祉朝日保険サービス TEL.052-221-0294
引受保険会社 朝日火災海上保険株式会社 TEL.052-231-4461

ご寄付に感謝

本会にたくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。みなさまからの善意が「あたたかい福祉社会」づくりに活かせるよう事業に取り組んで参ります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。

ご寄付いただいた方々
(平成25年9月～平成25年11月)
〔4件 ご寄附順〕

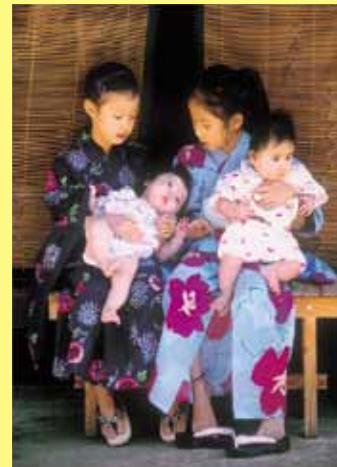
(株)NTTドコモ様………(名古屋市)
PSM協力会様………(名古屋市)
(公社)愛知建築士会様……(名古屋市)
神谷美智子様………(安城市)

二福祉検定 解答 A 2755人

保育所定員が48,641人増えたことにより、全国の待機児童数は22,741人になり、3年連続で減少しました。全国で一番待機児童数が減少した市町村は名古屋市で、前年より752人減少しています。

それでも、50人以上待機児童がいる市区町村は101あり、都市部の待機児童は全待機児童の80.3%を占めています。
(厚生労働省 保育所関連状況とりまとめ(平成24年4月1日)
(平成25年4月1日)より)

問題は…3ページにあります。



第27回ふれあいフォトコンクール 愛知県知事賞

第27回
ふれあいフォトコンクール

入賞者決定



《主な入賞者》

■愛知県知事賞

春田井市 横原同さん

愛知県社会福祉協議会会長賞

春田井市 奥村起田生さん

NHK厚生文化事業団理事長賞

春田井市 小島 康生さん

セーフティマイタウン賞

豊田市 石川 至さん

中日新聞社会事業団理事長賞

名古屋市 佐木崎有紀さん

審査員特別賞(青山昌弘賞)

春田井市 大島 守さん

審査員特別賞(斎場ひさとし賞)

瀬戸市 小川 清美さん

瀬戸市 小林 芳一さん

審査員特別賞(久雄さん)

豊橋市 金谷 洋一さん

審査員特別賞(アマノ賞)

春日井市 廣瀬 久雄さん

ニコノ賞

片田 綾子さん

静岡県 今枝 進さん

2014年「社会福祉手帳」「民生委員・児童委員手帳」訂正のお知らせ

恐れ入りますが、該当箇所の訂正をお願いいたします。各種相談機関・社会福祉関係施設等名簿2014

| 頁／訂正内容 | 誤 | 正 |
|--------------------|---|---|
| 205/ 保育士養成施設 名称 | 愛知県立大学 教育福祉学部教育発達学科 文学部社会福祉学科昼間主コース | 愛知県立大学 教育福祉学部教育発達学科 文学部社会福祉学科昼間主コース |